

## 地区とのタウンミーティング 議事概要

日 時	令和5年9月26日（火）午前11時00分～午後12時00分
地 区	星田地区
場 所	星田会館2階第4会議室
参加人数	19人

### テーマ1 星田地域のまちづくりについて

#### 主 旨（区長）

- 現在、星田駅北側は開発が進み、商店等が隣接し、多くの方が住まれる予定である。星田駅の周辺はまちづくりが進んでいるが、今後、星田区全体で市長がどのようなまちづくりを考えているのかお聞きしたい。

#### 市 長

- 私としては、市内の公共施設の配置に不平等を感じている。天の川の西側のエリアには、学校等を除き、休止中の乙辺浄化センターしかない。星田区については優先的に公共施設を建設したいと考えている。
- 星田は公共施設が少ないため、公共施設を増やすことを目標に、交番の移転も考慮している。交野警察と協議し、市として3つの土地を用意。結果、JR星田駅を出た北側の三角形の土地を希望されているため、今後、市の費用負担についても協議をしていく。
- 防災の面としても、備蓄庫の建設を星田会館近くに検討している。備蓄庫の建設により国からの緊急防災減災事業債の活用が可能であり、事業費の7割を国負担に出来る。結果、市の負担も圧縮でき、星田区の公共施設の不足の観点も解決できると思われる。
- 過去、南星台に隣接している山を市として30億円で購入した。その後、府が土砂災害特別警戒区域に設定。その山を取り除き、その際に発生する土砂の全現堂池への埋め立てを検討している。埋め立てた土地については住宅街等に利用できると考えている。市としても過去の負の遺産の清算が出来ると考えている。
- 乙辺浄化センターについては、本市と枚方市、寝屋川市と広域にて建替え予定。また、天の川磐船線を市として整備し、茄子作の高田まで道路を延伸予定。余った土地については、道の駅を含めた施設整備を進めていきたい。
- バスについては、昨年10月に京阪バスの路線改正により星田地域には、ほとんどバスの発着はなくなってしまったが、改善を求めた結果、京阪バスに2000万円の補助金を出すことで令和5年度、6年度については維持を取り付けた。令和7年度以降についても京阪バスと協議し、最低でもバスについては維持したいと考えている。

#### 意 見

- 全現堂池の埋め立てについて、土砂災害防止のためや、子育て世代の定住のために、必要なことは理解出来るが、池には歴史もある。また、なんらかの形で自然も保護してもらえないだろうか。

→〔市長〕歴史の観点から言うと、ため池というものは元々存在しない。農業用水のために作ったものである。農業については後継ぎがおらず、維持継続が困難である。ため池の維持管理も出来ない状況であり、見直しが必要。一方で、土砂の処分が大阪府全体の問題となっており、今回の土砂の処分を星田エリアで引き受けていただいた。慣れ親しんだ池だと思われるがご容赦願いたい。

- 全現堂池の埋め立てについて、昨年度説明会を要望し、いつかすると聞いていたが、紙面などの一方的な報告しか受けていない。事が進み、何も住民が何も言えなくなる前に意見を聞いてほしい。自然環境は二の次であるかもしれないが、公園等の自然を一部残す等出来ないものか、自然の調査は進んでいるのか、埋め立てても問題ないのか等、意見を聞きたい。

→〔市長〕南星台が土砂災害警戒区域であり危険地帯であることは、私が議員であるときから声を上げている。また、池の所有者は、市ではなく、財産区である。市としては、説明会を開くように財産区には声がけをしている。また、いらなくなったため池は危険であり、東日本大震災の際もため池が原因で死者も出ている。だが、自然環境を壊せと申し上げているのではなく、危険なところは取り除いた方がよいという考えである。南星台に隣接している地域なので、山林として利用出来る箇所はする。しかし、全現堂池についてはやはり宅地として利用すべきと考えているが、全てではなく、開発指導要綱に乗っ取り、最低敷地の3%については公園などに利用するため、地域住民の皆様にとってもプラスになるものと考えている。

今後市として説明の機会があれば行う予定である。

- 全現堂池の埋め立てについて、市に聞いたところ、当面は、埋め立ての予定はないと聞き、自然が好きなこともあるので、引越を決めた。また、太陽光発電により、現在電気代が0円の生活をしている。池がある区域は2階建程度の住宅しか建設出来ないだろうが、日射の影響も出ると思われ、経済的な影響もある。空地を設けていただくことや、地区計画を別途設けるなどの配慮はないのか。

→〔市長〕私が、議員であるときから埋め立ての可能性を交野市は発信していた。どちらに問い合わせたか不明だが、当時は特定事業推進室が行っていた。今後の土地利用については、最低の敷地面積、約100平米プラスアルファは市として制限する。また、用途地域の関係もあるが、2階建てになると思われる。しかし、建築基準法、都市計画法の範囲内の開発であれば、日照権や斜線規制の考慮もあると思うが、建築を制限することは困難。また地区計画によらずとも本市の開発指導要綱に基づき、ほぼ地区計画と同様の開発が可能。今後市として公募する際に本日の意見も参考にさせていただく。

## テーマ2 星田地域の地域防災力の強化について

### 主旨（区長）

- 星田分団は、広い範囲を対象としている。従来の分団庫は、コミュニティーセンター横にある車庫の上を事務所としているが、小さく、耐震の点からも不安があるので、拠点づくりを願いたい。
- 備蓄倉庫は現在、いきいきドームにあると聞いているが、星田から遠く、人口も多いため星田にも設けてほしい。安心安全なまちづくりには地域防災力の強化は必須であると思われる。

市長

- 車庫の移転候補地について、過去星田会館の近くに市として図書館を作るという名目で土地を購入した。しかし、星田会館にて図書室を設けていただいたため、不要となった。現在は一部駐車場、一部草むらとなっている。星田 7 地区の皆様が利用出来ることを前提として、当該地に分団庫と備蓄倉庫を緊急防災減災事業債にて整備予定である。
- 避難所に空調の設置はまだ出来ていない箇所が多い。来年度から第 3 中学校体育館にエアコンを整備する。エアコンの設置をしていくことで地域の防災力の強化につながると考えている。

### テーマ3 子ども達の将来のために私たちが今できることについて

#### 主旨（区長）

- 過去に比べて子ども達の関係も希薄になりつつある。交野市としてどのような教育をするのか。
- 星田は 4 つの校区に分かれており、子どもの連携がとれていない。星田校区福祉委員会がスタンプラリー等を行っているが、小規模なネットワークではなく、市として中規模のネットワーク構築に助力いただけるとありがたい。

#### 市長

- 市として家庭の環境・経済事情によらず、子育て支援が享受出来るように取り組み始めている。
- 交野市は、北河内 7 市の中で一番早く中学校給食については無償化した。市の定期預金を債権に変え、借り入れている分の金利もだいぶ下げた。その結果、中学校の給食無償化と、来年 1 月からは小学校 6 年生の給食無償化を始めることが可能。様々な子育て施策をすることで、転入増加・税収増加を目指し、それを高齢者施策に充てていきたいと考えている。
- 校区の見直しは慎重にならなければならないと考えている。三中校区も再考が必要である。学校を整備するとなると、また池を埋め立てなければならない等問題が発生する。
- 交野市は、過去から 35 人以下学級であったが、来年度から小学校 1 年生については、30 人以下学級にする予定である。再来年については 2 年生も 30 人以下学級にする予定である。よりきめ細やかな教育を受けられるようにする。
- 星田小学校については、大阪経済大学との連携で子供達にプール等の教育を行ったが、今後もこういった交流の場は設けていきたい。
- 子育て支援の関係では、9 月 19 日より使用済みオムツを、市が直接引き取るようにゴミの廃棄計画を改定した。
- あさひ認定こども園では、3~5 歳児は、おかずは園で用意するが、白ご飯は持参をお願いしている。10 月議会にて予算を通し今後、園にて白ご飯を炊ける状態に整備したいと考えている。
- 星田小学校の児童会の設備更新は来年度以降にも進めていきたい。

#### 意見

- 学校の整備を再考するとのことだが、今までどのような計画で進んでいたのか。  
→〔市長〕第三中学校の隣にあるため池を埋めて、将来的に施設一体型小中一貫校を建設する予定であった。  
小中一貫校を一中校区に整備したが、値上げを求められ、跡地利用も含めると費用が 100 億を

超える。他の交野市の施設は耐震工事をすれば20～30年は問題ないと考えている。

本市は、他市と比べて子どもの減少は緩やかである。そのため、先に既存のトイレの改修や体育館のエアコン整備の方が先であるとも考えている。

- 池を埋めて、建設予定であるとのことだが、一年前にこの場所で説明を聞いたときにはすでにその計画は出来上がっていたとのことなのか。

→〔市長〕教育委員会が出た話である。市として計画を決定したわけではない。教育委員会と市は別の組織である。教育委員会でその計画は出ていたが、市として止めている状況で、再考する。

- 星田消防分団の施設については触れられたが、その横にある、コミュニティーセンターには触れられなかった。現状、放置されている状況。また、星田北に新たに住民が来るが、公共施設が少なく、住民票の発行等が大変不便である。切れ目のない子育て支援を行うと言っていたが、コミュニティーセンターの耐震工事等を行うことで、地域の方が集える場所に改修してもらえないか。

→〔市長〕コミュニティーセンターは、前市長の時代に議会にて廃止が決定している。

私が当時の市長であれば、耐震工事を行い、長寿命化を図っていた。廃止が決まっているので、売却するしかないが、決定している消防分団の車庫移転よりも先にコミュニティーセンターの売却の話をする、消防は放置なのかと意見を頂戴することになる。そのため、売却は止めている。消防団の課題を解決してからの方が地区の皆様の納得を得られるものと考えている。

またコミュニティーセンターの土地の問題点が前の一方通行である。交番の位置もわかりづらいため、やはり交番については、星田駅の周辺に整備が必要であると考えている。

市として星田駅の周辺に3つ土地を用意した。そのうち駅の北側の三角の土地について市民から交番を求める声が多かったため、交野警察と協議した。残りの2つの土地のうち、北の70平米の土地は地下に埋設物があり利活用が難しい。ロータリーの東側は建物の除却が終わり、250平米の土地があるが、活用を今後検討する。一等地であるので売却は勿体ない。都市整備部は駐輪場として使いたいと言っていたが、それも勿体ない。当該地よりもさらに東側の市所有の土地を現在、駐輪場として整備をしている。空いた土地を民間企業に建物を建てていただいで、公的に利用できないか検討していきたい。

## 意見

- 交野市では、インクルーシブ教育について計画等はあるか。  
→〔市長〕市として対象となる教職員については他市よりも厚めに配置する予定である。学級数の人数を減らしてよりきめ細やかな教育を行い、課題のある子どもたちについては、別途クラス編成を行い、教育の質の向上を考えている。郊外で教育を受けたいという子ども達もいるため、その件は検討する。
- 学童保育について指導員の給与の確保と人員の確保が問題となっている。人数が足りないと十分な教育が受けられないと思う。先ほどきめ細やかな教育を行っていくと言っていたが、他市ではしていないが、交野市で行っていることや計画などはあるのか。  
→〔市長〕本市は子どもの割合が高いため、学童の待機児童の増加は懸念事項である。学童施設整備について注力していく予定であり、星田小学校も行う予定である。指導員については、任期

付きの職員という形で、複数年の任期かつ従来よりも良い待遇で募集をする。それにより子ども達の学童環境の改善に繋がると考えている。併せて、夏休みなどの長期休暇中の昼ごはんの提供について検討している。給食センターは、正直、給食提供日も 200 日程度しかないため、稼働率は 20%程度である。他市では、給食センターを利用して学童保育のお昼ご飯に利用しているところもある。本市でも可能かどうか検討している。学習面においては、小学校の教育時間は他市よりも短く、学力も中学は高いが小学生は低い傾向がある。私としては、学童教育に力を入れていきたい。

- 子どもの教育は重要だが、高齢者のことも考えてほしい。巡回バスもなくなったので、池を埋め立てたところに、足が悪い人が気軽に集まれる場所を作ってほしい。  
→〔市長〕高齢者施策についても同時に取り組んでいる。雇い止めになったシルバー人材センターの方の 78 名は通学路の見守りで一部雇い直しをした。また来年度からシルバー人材センターに依頼し、各学校のフリースペースで子ども達が遊べる場を設け、そこに高齢者の方を雇う予定でもある。バスについては、過去ゆうゆうバスを廃止した。バスがない箇所については市として、ワゴン車を走らせているが、今後拡充を検討している。だが、外出支援はそれだけでは不十分であるため、外出支援金を 2,300 円→4,600 円に増加。来年度からは 70 歳以上に対象年齢も引き上げる予定。タクシーも利用出来るようにする。補助額が足りないという声もあるため、市として予算をみつつ、増額を検討する。
- 私は高齢者であり、星田 8 丁目に住んでいるが、星田駅前まで歩く際に休むところがない。ベンチ等を設置してもらえないか。
- 星田駅のタクシー乗り場は、他の会社のタクシーは止まれないと聞いたが、本当か。また、そのタクシー乗り場はベンチが金具で熱い。高齢者は、あそこで待つとなると熱中症になる可能性もある。環境改善をタクシー会社に交渉してもらえないのか。  
→〔市長〕タクシーについては専用ではないが、とあるタクシー会社の割合が高いのは事実である。駅前周辺の再整備については大阪府と協議中であり、猛暑対策事業として施設を整備予定である。